

2024年7月18日

成分分析を介して天然素材の新たな価値が見つかる、「売りたい」と「買いたい」がつながる 新デジタル・プラットフォーム「Biondo®」始動

住友化学は、2024年7月18日、成分分析を介して天然素材の売り手と買い手をつなぐ日本初^{*1}のデジタル・プラットフォーム「Biondo®^{*2, 3}（読み方：ビオンド）」をリリースし、専用 web サイトをオープンしました。「Biondo®」は、当社が培ってきた高度分析やデータベースを基盤とし、DX(デジタル技術)を駆使することで新たな価値をお客様へ提供するものです。持続可能な未来に向けて、限りある資源を有効活用することで、循環型社会の構築へ貢献します。

Biondo

専用 web サイト



Bio バイオ素材 + 発見/転換 スミカらしさ + 音頭を取る 音符

web サイト URL : <https://www.biondo-sumika.com>

「Biondo®」は、住友化学が持つ高度な分析技術と豊富な天然資源のデータをベースとした、天然素材を売りたい人と買いたい人をつなぐデジタル・プラットフォームです。素材に隠された機能性成分を明らかにし、データライブラリの拡充を続けることで、お客様の素材探しを効率的にサポートします。素材を売りたい人と買いたい人のマッチング機能を備えていることも特長です。

循環型社会の実現に向けたカギとなるのが、未利用資源の有効活用です。例えば、食料由来の廃棄物は、年間約 2,400 万トン^{*4}にもなると言われています。「Biondo®」は、分析を介してこうした資源の本来の価値を見出し、素材のリサイクルやアップサイクルを支援。さらに、成長する健康・美容関連市場などをターゲットに、顧客への価値創出と社会課題の解決の両立を目指します。

<天然素材と成分の例>



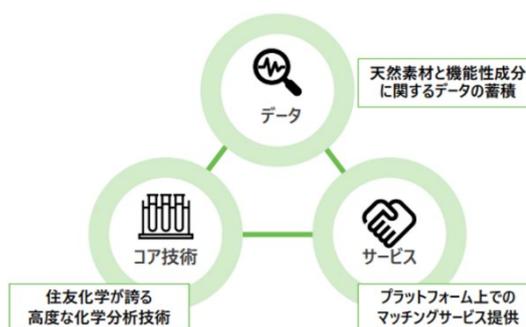
魚の刺身:DHA
記憶力維持などが報告されている脂肪酸

ミカンの皮:ヘスペリジン
血圧を下げる作用が
報告されているポリフェノール

■「Biondo®」でできること

本サービスは、3つの機能を有しています。

1. 約200種の化合物の定量的スクリーニングが可能な成分分析
2. 天然素材の分析データベース（350種以上※5）からの情報検索
3. 素材情報でつながる取引先開拓



■「Biondo®」の使い方

- ✓ 素材の売り手は、サイトから売りたい素材の成分分析を依頼します。含まれる機能性成分が明らかになり、素材検索データベースに登録されます。
- ✓ 素材の買い手は、天然素材の分析データベースで欲しい素材・機能性成分を検索して見つけます。
- ✓ データベースを介して、簡単に売り手と買い手のマッチングを行うことができます。



住友化学は、当社がこれまで培ってきたデジタル技術、バイオ技術、環境負荷低減技術などに関する経営資源を最大限活用しながら、ソリューション提供型ビジネスに重点を置く事業ポートフォリオ変革ならびに新ビジネスモデルの創出を加速してまいります。

住友化学 執行役員 辻 純平 (Biondo プロジェクト責任者) のコメント

住友化学は、さまざまな社会課題を革新的技術で解決する「Innovative Solution Provider」を目指しており、当社固有のコア技術と重要なアセットの一つであるDXを活用して提供する新サービスが「Biondo®」です。本サービスのビジョンは、『資源を中心に、人をつなぐ。ビジネスをつなぐ。そして、持続可能な未来へつなぐ』。私たちは、天然素材の未開拓な価値を解き明かし、それをビジネスの機会へと変えることに挑戦します。次なるデジタルサービスのご提供も準備しています。ぜひご期待ください。

- ※1 成分分析、素材検索データベース、取引先開拓の3つの機能を有する天然素材のマッチングサービスとして
(2024年7月18日時点 住友化学調べ)
- ※2 「Biondo®」(ビオンド)のネーミングは、Bio+Ondo(音頭)を合体させた造語で、天然素材に関わるビジネス
マッチングサービスをイメージしたものです。英語 Beyond と響きが似ていることで、新しい価値の創出への想い
も込めています。
- ※3 「Biondo®」は会員制サービスです。登録方法や料金は専用 web サイトからご確認ください。
- ※4 (出典) 消費者庁：食品ロス削減関係参考資料(令和5年6月9日版) 分割版2
(https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_policy/information/food_loss/efforts/assets/efforts_230609_0001-01.pdf)
- ※5 2024年7月18日時点

<ご参考>

当社におけるDXの取り組み

住友化学ではデータの利活用によるビジネス創出の取り組みを加速しています。今回リリースした「Biondo®」は、データサイエンティストなど多様な専門知識を持つ人材を社内公募などで組織した専任チームが伴走支援し、アイデア探索から約1年というスピードで事業化に至りました。本サービスで得られたノウハウも活用し、本年度中に事業化第2弾の取り組みを進めていく予定です。

- 2022年12月21日付 お知らせ「DX戦略3.0推進チームを発足～データの利活用による新たなビジネス創出へ～」

<https://www.sumitomo-chem.co.jp/news/detail/20221221.html>

- 2024年3月12日開催 DX戦略説明会(動画)

https://www.irwebmeeting.com/sumitomo-chem/vod/20240312/z5r7p2e9/dx_01_ja/index.html

なお、本件は、PwCコンサルティング合同会社からのデータマネタイゼーションに関する伴走支援を受け、ビジネス開発を行ったものです。※詳細は同社のニュースリリースをご参照ください。

- PwCコンサルティング、住友化学初のデータマネタイゼーションプロジェクト「DX戦略3.0」の立ち上げを支援

<https://www.pwc.com/jp/ja/press-room/2024/sumitomo-chemical-company-biondo202407.html>

以上

